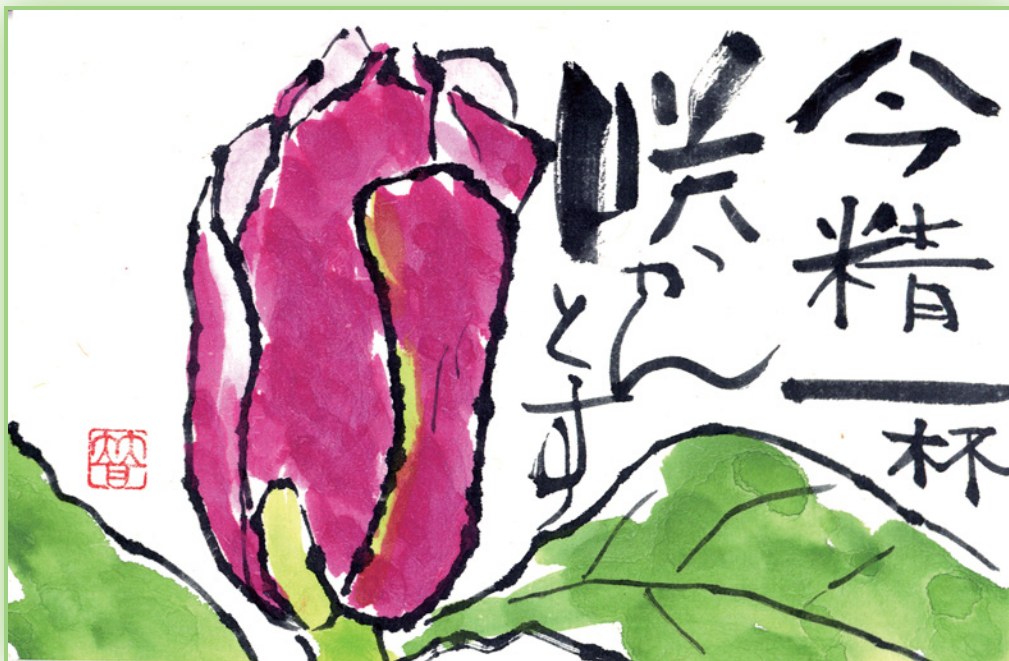




岐阜いのちの電話



モクレン H. M

話してみませんか
あなたの悩み…

相談電話／058-277-4343

相談時間／月～日曜日

午後7時から午後10時まで

第1・第3金曜日のみ

午後7時から連続24時間

開設時間内でも防災警報・注意報の発令（悪天候）や「相談ボランティア」の都合が付かない場合などで「休止」することがあります。ご了承ください。

ナビダイヤル／0570-783-556 (全国共通番号)

毎日 午前10時から午後10時まで

フリーダイヤル／0120-783-556

毎月10日 午前8時から連続24時間

メール相談／「岐阜いのちの電話」のホームページに必要事項が掲載されています。

相談は携帯メールもご利用できます。

inochi-mail@ktroad.ne.jp (5日以内に返信します)

座間市事件に想う

常富 佳子

若い人たちが次々とゲームのように殺された事件の報道にSNSの怖さを感じるとともに、自殺防止に長年携わってきた私は頭をハンマーで殴られたようなショックを受けました。大きな無力感です。

「岐阜いのちの電話」が開設した1998年は凶らずも国内の自殺者数が3万人を超えたその年でした。以来、相談時間を次第に拡大して自殺防止につとめてまいりました。

最近になって自殺者数は、平成初期頃とほぼ同数の2万人余りにまでさがってはきたものの、10歳代を含め、若者の死亡理由の第1位が自殺という状況は、いのちの大切さが十分感じられていないからのように思われます。幼い頃からの自殺防止教育が必要との想いが胸を揺さぶっています。

一方、携帯電話、スマートフォンの発達はすざましく、使い方の教育が追いつかないまま汨濫し、ふと、つぶやいた言葉が不特定多数の人の目に留まり、こころ無い人の毒牙にかかってしまった事件だと思います。

座間市事件の犯人男性が「本当に死にたいと思っていた人はいなかった。」と語っているように“死にたい”“自殺したい”と軽い気持ちで思うことは、思春期の頃に多くの人が経験のあることでしょう。

そんな時、“誰に向かってつぶやくか”が一生の分かれ道になってしまったのです。残念でたまりません。多くの人のおお切ないのち、どれだけ悔やんでも取り返しはつきませ

ん。

SNSは便利なもの、楽しいものとして今や若い人たちにとってはなくてはならない一番身近なもの、頼りになるものになっているのです。ところがそのツールを使って事件が起きている、文明の利器に申し訳ないことです。

「いのちの電話」が大切にしている電話は命をつなぐ大切な電話です。1953年英国で始まって以来、全世界で活動しているボランティアたちは、自殺を覚悟して消え入るような声でかけてくださった方々とこころを通わせ“死にたい”程のお気持ちを親身になって聴かせていただいているのです。私たちは待っています。聴かせてください、死にたい気持ち、辛い気持ちを……。

そんなつぶやきが確実に「いのちの電話」につながってくれたなら……

みんなで考えてみませんか。

対策として、ツイッターの検索窓口の一番上に「東京自殺防止センター」を最初に表示されるような仕様にしたり、自殺防止強化月間の3月には「LINE」上で専門に受け付けるアカウントを運営するなど一部対策は取られていますがSNSによる事件はなくなりそうにありません。自殺を考えたとき、必ず適切なところにつながり、自殺を思いとどまって生きてくださったら……、と願ってやみません。（協会元副理事長）

相談員の声

10年目

相談員として電話の前に座るようになって10年目になるうとしています。

相談を受けるための専門知識もなく、悩ん

でいる人の話に耳を傾けるこのボランティアに欠かせない「傾聴」という言葉も知らず、年齢制限ぎりぎり始めたボランティアでしたが、相談員になるための1年間の相談員

養成講座は知らないことを勉強する楽しい時間でした。

電話をかけてくれる人は様々な悩みを勇気を振り絞ってダイヤルしてくれているのだと思います。話を利用者の方の言葉で聞きたいと思い自分の心にある言葉を飲み込んで待つのはなかなか難しいことです。私の人間性を養う貴重な時間でしたがまだまだ半人前のままです。

そんな私ですが、他の会合の後であなたが一番話しやすいと電話をくれる人が居たりしてちょっとうれしくなったりしたこともあります。また、普段の生活の中で家族にもちょっとは優しくなれているように思います。

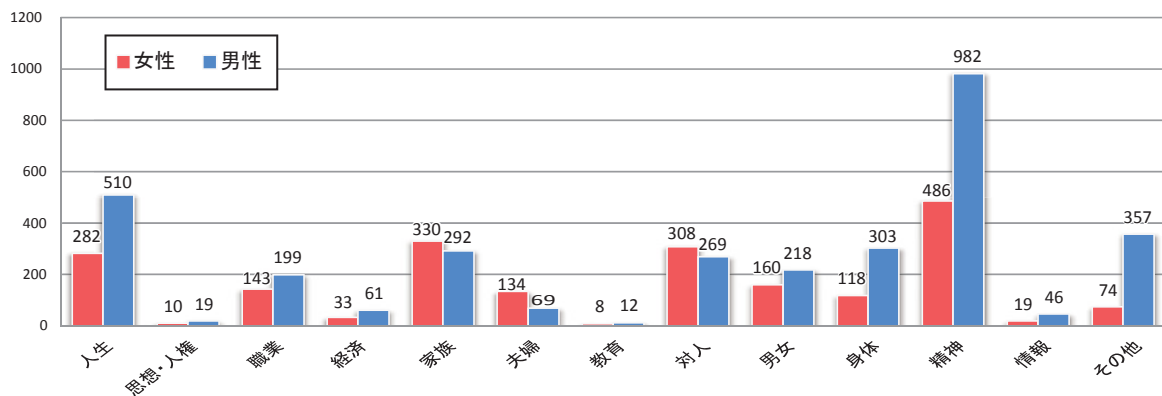
これから先何年続けられるかわかりませんが車の運転に気を付けて体調を整えて心穏やかに電話の前に座り続けていきたいと思っています。(M・I)

岐阜いのちの電話 2017年の統計

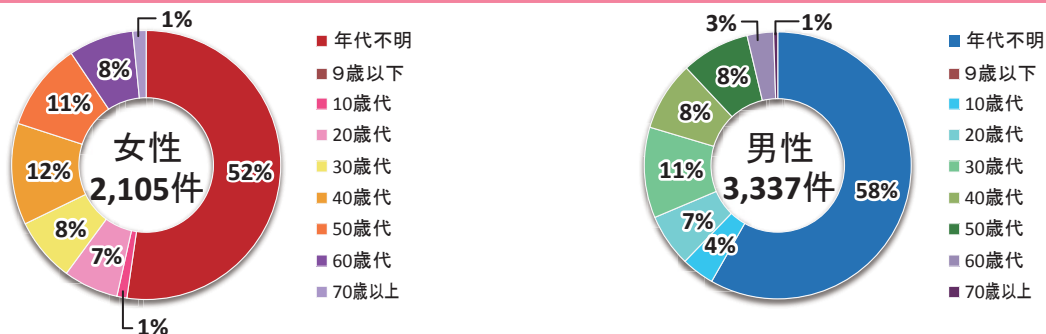
岐阜いのちの電話が2017年1月～12月までの1年間に受信した総件数は7,042件でした。そのうち相談員と会話のなかった無言(1,600件)を除く相談件数は5,442件で、男性が3,337件(61%)、女性が2,105件(39%)でした。

相談内容は男女ともに精神に関するものや、孤独、生きがいなど人生についてのものが多く寄せられています。年齢別では半数以上は不明ですが、男性では30才代、女性では40から50才代が多くを占めています。

男女別相談内容別状況



男女別年齢別の状況



会費・寄付に対する感謝報告

下記の方々から岐阜いのちの電話協会へ暖かいご支援をいただきました。心から感謝して報告いたします。今後ともご支援賜りますようお願いいたします。

【個人】2017年12月1日～2018年5月31日領収分

順不同・敬称略

岩井純子 (各務原市)
池田庸子 (岐阜市)

板垣正雄 (岐阜市)
井上玲子 (岐阜市)

岩見三七夫 (美濃市)
太田朋子 (三島市)

小木曾誠 (岐阜市)
小里れい子 (大垣市)

片桐玉枝 (岐阜市)	高木美智子 (大垣市)	深尾八千代 (岐阜市)	宮田延子 (美濃加茂市)
河村眞志 (岐阜市)	高橋明美 (岐阜市)	福井真一 (岐阜市)	武藤幹子 (岐阜市)
河村満恵 (岐阜市)	高山節子 (岐阜市)	伏屋孝子 (岐南町)	武藤吉徳 (岐阜市)
熊田かほる (岐阜市)	田口弥生子 (岐阜市)	古川芳子 (名古屋市)	村瀬 香 (名古屋市)
児玉佐喜子 (養老町)	多田 滉 (岐阜市)	古田孝子 (岐阜市)	村瀬忠敬 (山県市)
後藤道子 (岐阜市)	多田嘉子 (岐阜市)	前田悦代 (大垣市)	村瀬康子 (山県市)
子安愛子 (岐阜市)	辻 照代 (岐阜市)	政井千香子 (岐阜市)	森川土朗 (岐阜市)
子安崇雄 (岐阜市)	辻幾則 (岐阜市)	松居 勲 (大垣市)	安田良江 (岐阜市)
清水章子 (岐阜市)	常富佳子 (岐阜市)	三尾美紀 (大垣市)	矢野由子 (大垣市)
白木裕子 (岐阜市)	中野哲一 (名古屋市)	三品照視 (美濃加茂市)	吉田和郎 (大垣市)
杉田その子 (岐阜市)	西田一代 (大垣市)	水野眞美子 (岐阜市)	若岡ます美 (岐阜市)
杉田憲夫 (岐阜市)	野崎桂一郎 (養老町)	宮崎普子 (揖斐川町)	この他お名前掲載を希望されない方 9名

【団 体】2017年12月1日～2018年5月31日領収分

岐阜カウンセリング研究会 (岐阜市)	中部学院大学宗教委員会 (関市)
ぎふ脳外傷友の会長良川 (岐阜市)	長良キリスト教会 (岐阜市)
清澄会不破ノ関病院 (垂井町)	日本キリスト教会岐阜教会 (岐阜市)
郡上市 (郡上市)	美濃大野ライオンズクラブ (大野町)
三進社印刷所 (岐阜市)	この他お名前掲載を希望されない団体 2

*2018年6月1日以降にご支援賜りました方々のお名前は広報次号で報告させていただきます。
*広報にお名前掲載を希望されない方は事務局までお知らせください。

～事務局だより～

2018年1月～5月

*自殺予防講演会開催

去る2018年2月4日(日)14時～16時、長良川国際会議場5階国際会議室において自殺予防講演会を開催。～地域で支える大切ないのち～「いのちの電話から見た現代」と題して中部学院大学教授(臨床心理士)高木総平氏を講師にお招きして講演会を開催しました。80名の方が参加しました。

なお、第18期養成講座受講生は2月に修了式を行い、9月の電話相談員認定にむけて実習中です。

*定期総会を終了

去る5月13日(日)13時30分から日光コミュニティセンターにて、NPO法人岐阜いのちの電話協会2018年度第1回理事會と定期総会を開催しました。委任状を含めて42名の正会員により、前年度事業報告と決算報告及び今年度の事業計画と予算案を審議、可決承認されました。

*第19期ボランティア相談員養成講座始まる

第19期ボランティア相談員養成講座が4月21日から始まりました。現在8名が受講しています。

特定非営利活動法人
岐阜いのちの電話協会

〒500-8387 岐阜藪田簡易郵便局 局留
TEL・FAX 058-273-5387 (事務局専用)
発行人 杉田 憲夫・編集 広報委員会

□岐阜いのちの電話協会ホームページ <http://www.ktroad.ne.jp/~inochi/> □メール・アドレス inochi@ktroad.ne.jp